

女夫石遺跡発掘調査速報

No. 7

発掘して地面の中からでてくるのは、土器や石器だけではなく、不思議なものも出てきます。その一つの土偶（どぐう）がでてきました。縄文時代に粘土で作られた像です。土偶といえば、山梨県というほど、全国的に有名です。有名になったきっかけは「釈迦堂遺跡」です。夏休みには釈迦堂遺跡博物館へ行って、韮崎の土偶と比べてみてはどうですか？



なんだか、変わったものが出てきたみたいだよ！お尻の出っ張った土偶だ！

おへそから伸びる線は「妊娠線」といわれています。この土偶はお腹が膨らんでいませんが、土偶は妊婦さんのようにお腹の大きなものが多いです。しっかりしたお尻をしていて「安産型」です。女夫石縄文人にとっても、子供を産む女性は神秘的だったのでしょね。



お尻から足にかけて、細かい模様が刻まれています。当時の服装？ボディペインティング？イレスミ？それとも単なる模様？ナソです…。

沢リ：何だか変な形の土器が顔を出してるよ。ん・・・、土器じゃないみたいだな。土偶だ！

マキ：お尻が出っ張っているんだね。足と上半身がなくなっちゃっているね。

沢リ：土偶は完全の形のままで発見されることはほとんどないそうだよ。大体壊れて出てくるんだって。しかもわざと壊したっていう研究者もいるそうだよ。

マキ：何で、わざわざ壊しちゃうんだろうね？ところで土偶は壊されて捨てられてでてくるだけなのかな？

沢リ：そんなことないみたいだよ。石之坪遺跡（円野町）では食料などを貯蔵する穴の底から顔の部分が石器と一緒に出てきているし、坂井遺跡では竪穴住居の床から顔がでてくるんだよ。

マキ：じゃあ、土偶は子供を産むことを祈るためだけじゃなくて、食べ物や住まいへの祈りにも使われていたのかな？縄文時代もまだまだ色々なことを考えなくちゃいけないんだね。（つづく）



石之坪遺跡（円野町）の土偶の出土状況



坂井遺跡（藤井町）の土偶の出土状況